

博物館資料保存論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと)

1. 次の文章の () にあてはまる適切な語句を、下の□の中から選び、文を完成させなさい。解答欄にはその記号を記しなさい。(各4点)

(1) 文化財保護法制定の契機となった大きな出来事は、1949年1月26日に起こった (①) の焼損である。この文化財保護法は、戦前に制定された国宝保存法、(②)、重要美術品等ノ保存ニ関スル法律、の三つの法律を発展的に統廃合したものである。

(2) 2004年改訂の国際博物館会議(ICOM)職業倫理規定では、文化財の返還に関する事項を次のように示している。

6.2 : 博物館は、文化財をその (③) またはその国民に返還するための話し合いを開始する態勢を整えているべきである。このことは、科学的、専門的また (④) な原則と、適用される地方・国の法、および (⑤) に基づき、政府もしくは政治レベルの行動に優先して、公平に行われるべきである。

ア. 社会的	イ. 文化芸術振興基本法	ウ. 国際宣言	エ. 法隆寺金堂壁画
オ. 売却国	カ. 松山城	キ. 史蹟名勝天然紀念物保存法	ク. 原産国
ケ. 平和的	コ. 人道的	サ. 国際法	シ. 金閣寺
セ. 発見国	ソ. 国際慣習	ス. 古寺社保存法	

2. 次の事柄の中から4つ選択し、その番号を記し簡潔に説明しなさい。(各5点)
(5つ以上を解答した場合は無効とする。)

- (1) 経年劣化
- (2) 温湿度データロガー
- (3) クリモグラフ
- (4) パッシブコントロール
- (5) 文化財レスキュー
- (6) 文化財の現状維持修理

3. 博物館園での IPM の考え方について、以下の3つの語句をすべて使い、200字以内で説明しなさい。(15点)

【 化学薬剤 生物被害 自然環境 】

4. 「移築保存」について具体的に説明し、その留意点を含めて200字以内で述べなさい。
(15点)

5. 博物館資料の保存と地球温暖化対策との関係について、以下の3つの語句をすべて使い、400字以内で述べなさい。(30点)

【 二酸化炭素 省エネ 保存環境条件 】